

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

|                |                 |    |              |
|----------------|-----------------|----|--------------|
| ○事業所名          | Plus+days西淀川大野校 |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 2月 1日     |    | 2026年 2月 15日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)          | 5人 | (回答者数) 5人    |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 2月 1日     |    | 2026年 2月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)          | 6人 | (回答者数) 6人    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 24日    |    |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                  | さらに充実を図るための取組等                     |
|---|--|--|------------------------------------|
| 1 | 利用児童や保護者のニーズや相談に寄り添いながら多角的にアプローチしているところ    | 保護者からの相談の機会を多く設け、そのことについて職員間で情報共有している。 | 希望者がより均等にサービスを受けられるよう、スケジュールの工夫する。 |
| 2 | ICT化を積極的に取り入れて、保護者様だけでなくスタッフの業務軽減を図っている。   |  |                                    |
| 3 |  |  |                                    |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等               | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|---------------------------------|--|
| 1 | 日々の振り返りの際、話し合いに参加できないスタッフがいる               | 各スタッフの勤務曜日や時間によって、共有が疎かになってしまう。 | スタッフの振り返りの内容について、全員が共有できるように記録を徹底し、確認が必要な事案についてはLINEやミーティング時に話題を挙げて共有する。 |
| 2 |  |                                 |  |
| 3 |  |                                 |  |